

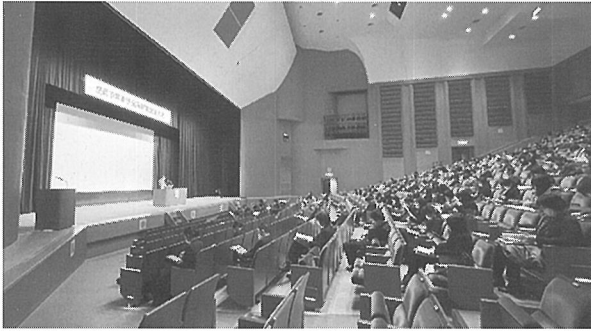
令和三年度（第五十六回）

盛岡市教育研究所研究発表大会

第五十六回盛岡市教育研究所研究発表大会が、令和四年一月五日・六日、都南公民館・キヤラホール、済民体育館を会場に開催されました。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部分科会発表において人数制限を行いました。二日間約三百名の先生方に参加いただきました。

午後半日の開催、発表資料のHP掲載、オンラインによるアンケートの実施等、例年とは異なる形での開催にもかかわらず、参加いただいた先生方のご協力のもと、充実した研究発表大会となりました。

全体研究発表



全体研究発表会（大ホール）の様子

今年度の全体研究発表では、「児童生徒の不登校対策に関する研究」、「小中学校におけるICT活用に関する研究」の二本を発表しました。それぞれ三十分間という限られた発表時間でしたが、盛岡市の喫緊の課題である不登校対策と、今年度から取り組み始めたGIGAスクール構想におけるICT活用について、様々な学校の取組実践例等を交えた発表に、アンケートにも「大変勉強になった」といった感想が多く寄せられました。

分科会発表

分科会発表は、五日に実施した「体力向上分科会」の他、「特別支援教育分科会」、「学力向上分科会（算数・数学）」、「キャリア教育分科会」、「先人教育分科会」、「研究指定校中間発表」の六本の発表となりました。



分科会発表（研究指定校中間発表）の様子

体力向上分科会は、体力向上研修会を兼ねて実施され、参加した先生方には、実際に体を動かしながら学ぶ機会となりました。特別支援教育分科会は、「LD等通級指導教室」の役割等の確認とあわせて、実際の指導事例等も紹介されました。学力向上分科会では、今年度研究員として研究に取り組んでいただいた四名の先生方の実践について発表されました。キャリア教育分科会は見前南中学校区、先人

教育分科会は下橋中学校区、黒石野中学校区が、それぞれ小中一貫教育の視点から学校間の連携を図り、取り組んだ研究の成果が多数紹介されました。研究指定校中間発表は、来年度学校公開研究会を控えた城西中学校・厨川小学校による二年研究の中間発表として、現時点での成果と課題が発表されました。

参加者の声（アンケートから）

★全体発表について

・不登校について、他校の対応、体制等、取組から学ぶことができました。「取組の整理」を見て、様々な視点があることを改めて考えることができました。

・小中それぞれのICT活用の事例から、授業における活用はもちろんのこと、学校体制としての活用についても具体的なイメージを持つことができました。

★分科会発表について

・LD等通級指導教室とは、何から始まり、何を目的とするか、どう進めていくか、など、大変分かりやすく発表していただきました。特に、教科の中での自立活動の実践例はとても参考になりました。

・算数数学の学習過程のサイクルがとても分かりやすいと

感じました。単元全体を通して付けたい力を明確にし、単位時間ごとに重点を置く過程を精査しながら指導計画を立てられていることが分かり、大変勉強になりました。

・研究テーマに沿って「走力の向上」の実践がされており、発表内容も分かりやすかったです。どの学校でもすぐにも取り組める実践で、大変参考になりました。

・九年間の一貫した指導が大切ということが分かりました。特に、「キャリア教育アンケート質問項目」として挙げていた一つ一つを、毎年子どもたちと一緒に確かめながら進んでいくことが大切だと思いました。

・たくさんの実践発表に頭が下がる思いでした。盛岡の先人教育について、複数の発表があったことで、様々な角度から先人教育を見つめることができました。

・城西中学校区で取り組まれている「自己有用感を高める」研究について、助言のとおり、「学校の特色や独自性を生かしながら、系統化された研究」であり、たいへん勉強になりました。

多くのご意見ご感想、ありがとうございました。